

# 大同病院 無菌病室(クリーンルーム)を稼働



大同病院では、平成26年8月1日に全室個室の新B棟がオープンし、新たに「無菌病室」(クリーンルーム)を2室設置いたしました。

「無菌病室」は、免疫システム(からだを細菌などから護るシステム)に欠かせない白血球の数が減ってしまった患者さまに入っていただく、感染予防をおもな目的とした特別な病室です。

白血病や悪性リンパ腫などの「血液がん(造血器腫瘍)」をはじめ様々ながんの治療には、大量の抗がん剤を使ったり、放射線を全身に照射したりします。このような治療を受けた方は、白血球の数が減って著しく免疫力が低下するため(免疫不全)、細菌やウイルス、カビなどの微生物に感染しやすくなります。



無菌病室には、このような免疫不全の方が感染症をおこさないように工夫がこらされています。空気感染を防ぐために一般の病室よりきれいな空気を部屋全体に一定の方向で流すとともに、使っていただく水をほこりの少ない水(滅菌水)にすることにより、感染リスクを減らしているのです。

ここに入っていただく方は、大量化学療法や造血幹細胞移植による治療を受けられる方など、がん患者さまが対象となります。無菌病室の使用により、これまでよりも安全かつ強度に、血液がんをはじめとしたがんの診療をすすめることが可能となりました。

大同病院は、市民の皆さまの健康維持と質の高い医療の提供を目指して「がん診療」に今後も積極的に取り組んでまいります。

 無菌病室の利用についてご相談ください

社会医療法人 宏潤会  
大同病院 血液・化学療法内科

TEL: 052-611-6261 (代表)